

◆大賞

愛子

◎AGF賞

木村 円（14才）

手を

触れてみたくなかった
抱きしめられたくなかった
私の心にすみつくこ動は？
そうだ、これは恋

プライドとか大人とか
そんなもん
とつくに脱ぎました
身も心も裸です
あなたが大好き！

◎ラーソンジュール・ニッポン（株）賞

遠藤歩里（14才）

◎ラーソンジュール・ニッポン（株）賞

多和良悦子

会えずにいたら
がまん死しちゃうと
思ってたけど
我慢はしても
死なないんだな

「スキ」と思う気持ち
たった二文字。されど二文字。
簡単に伝えられないけれど
本当は早く伝えたいんだ
「スキ」の二文字を…。

山田千晴

◎全国額縁組合連合会賞

前しおん

あなたの前では
為す術もなく
体中から
溢れ出す 女の子
したたる おんな

◎全国額縁組合連合会賞

清水花菜（14才）

あのコの前では
笑ってるのに
私の前では笑ってくれない
すぐ胸がしめつけるほど
苦しいよ

◆佳作

◎AGF賞

影山洋子

八十の母に
元彼からの電話
振り向きざまに
二股だったのよ
と のたまう

川原ゆう

君に内緒で
育てた恋心
もう隠しきれないほど
ハートから
はみ出している

◆展示用作品

悠木すみれ

始まりは
その笑顔
胸に
すずやかに染みてきて
あなたで一杯になった

叶 静游

抱く
ひたすら
抱く
慟哭の
君を

昂 朱丸

恋人の優しさが
恋人に注がれ、
心に届くと、微笑みにかわる
そして、その微笑みは
世界に広がる

かおる

あなたの腕の中で
浄化される
私です
眠りにおちる前の
無意識なやさしさの内で

S h i n

自転車を
降りて君の
隣を歩く放課後は
スイートポテト
色の夕空

杏

視線が絡み合って
五秒間
瞬きすらできないほど
私の何かを
奪っていく

荒井礼子

ビール飲み干す
君の首すじ
その真ん中あたりの
涼味と苦味に
なりたく思う

天然あゆ

一番好きになった人が
一番好きになつてくれたら
どんなに
幸せなことだろう
そんなふたりになりたい

華 凜

若かった
あの時と
言える日が
来るのだろうか
中年の恋も

西部 稔

願い事
ひとつも言えなかったけど
流れ星が
二人の手を
こうして握らせてくれる

唯沢 遥

「あ、いいな」と
心の琴線に
触れた瞬間に
恋に
落ちていくんだね

水無月ようこ

毎日
君が通る
道だから
朝一番に
咲きたいのです

阿部

空の青が
とても美しかったので
恋人に見せたくて
同じ色の鉛筆を
買いました

水野沙羅

あなたと
やわらかく
眼差しが
交差した瞬間^{とき}
春は舞い降りたのです

関根 雪

たとえ
どんなかたちでも
わたしがあなたの
日常の一部になれば
いいのです

萌 子

強がりばかり
云っている
私の骨が
ぽきんと音をたてた
抱きしめられた日

明 鏡

君が恋人となり
そして妻となる
それから母になり祖母となる
そんな風に変わっていく君と
ずっと生きていこう

大石祐子

追いかければ逃げていく
離れようとすると追いかける
まるでシーソーのように
二人の熱は
上がったりがったり

中崎あや子

好文亭への
竹林の風の中に
はじめて手をつないだ
二十歳の
君がいる

与謝野 島

寝顔に
なんでも相談
いつも
黙って聞いてくれるね
10%の笑顔で

荒川孝雄

雪の金沢
帰りのしらさぎ
永遠が
重なり合い
思い出が降り積もる

美 雨

肩触れ合う
この距離が
程ほどに心地いい
あと少しで恋人の
私たち

アンドー・ナツ

私をよく見て
やさしく触れて
結んだ心
つないだ体
もっと強く感じて

A C C H I

あのね
ここがすきな
あなたの長い腕の中
まったり ほっこり
どこよりもゆめごこち

素 音

抱きしめたい
おもいに
嘘はない
けれど
この恋にまだ迷いはあります

嵐 太

半歩後を
歩く君は
木陰で生まれた風
僕はやわらかく
吹かれていよう

じゅんこ

満 月

料理人が
素材を知り尽くして
料理するように
私は貴方を知り尽くして
愛を紡ぐ

一回しても多く
千回しても
物足りない
恋って
麻薬やね

美伊奈栖

このはなさくやひめ

無期で囚われた
腕の中
鍵は要りません
づつと
ここにいるから

何度でも
抱きたい
この指が
あなたのかたちを
記憶してしまいうくらい

紫野 恵

秋葉 滯

見せよ
猛る顔を
一寸先で
私だけに見せる
愛しい顔かんはせを

鮮度低下
鎮まる恋に
困った時の
だいすきっ
抜き打ちビームが効くウ

長谷川弥生

ま のすけ

教室の
窓からのぞく
白いシャツの腕
顔は見なくても
貴方だとわかる

新しい部屋の窓から
キミは
雲の流れる空を
僕はキミとの
明日を眺める

門雀弘幸

井権しづく

君の掌てを
とるとき、ふるえます
君の掌ての
ぬくもり、ほしいから
五十年すぎても

わたしとは
ひっくり返つてると思うくらい
しっかりするところと
ゆるいところが逆だけど
あなたがすき

遊 子

飽きっぽい私が
四十年以上
続けてきたものがある
あなたを
愛することだ

幸田真理子

深呼吸すれば
いつでも
すんと
そこに辿りつく
あなた

風 鳥

吉田綾乃

全てを
信じられなくなったトキ
きみは
僕を信じてくれた
また頑張ろうって

『失せ物、もどらず
待ち人、きたらず』
失恋した私を
待っててくれたのが
あなたでした

柳沢由美子

清水直子

甘やかな記憶は
反芻すればするほど
デフォルメする
私はハートの形に
あなたははどうですか？

希望
生き甲斐
そして勇氣
恋人とは
不思議な力

永井純子

海 青

賞味期限や
期間限定が
あるなんて・・・
特売じやあるまいし
恋は 一点モノ

上野発の特急列車
時速百キロは
彼女に近づく
恋の速度
胸を焦がす炎の強度

ほしかわなお

生駒涼子

あなたの好きなように
いつもしているように
身をまかせたくなる
私がいる
これを「よろめき」という

乳首を
微風に
撫ぜられる感覚
"夏の日の恋"の
メロディーを聴くと

伊東柚月

龍 宮

やめよう
と思うとき
恋は始まっていて
猛禽の仔が
躰の奥で目覚める

あなた色に染まり
あなた似の
未来を授かる
ほくろの位置まで
同じ

深口明日香（14才）

好きな人と想いが通じ合った日
好きな人の恋人になれた日
この日の事は一生忘れないだろう
この日の事をいつか君の隣りで
笑いながら話す時がくるだろう

長束康子（14才）

最初は笑顔を見て
好きになっただけど
今になっては
あの寝ぐせまでもが
愛しくなる

村田有佳里（14才）

父の大きな背中に
似ていて
やさしくて大きくて
そのような人がいる
幸せ

菅野沙也加（14才）

私は貴方のことをずってみていたい
家にも どこにいても
でも貴方は何か私には
まぶしすぎるの：
私には誰よりも美しくみえるの

柏崎 典（14才）

笑顔で話している君
でも目線はいつも
向こう側で
その度に胸が
しめつけられる

杉山千夏（14才）

初めて「スキ」を知った日は
ハッキリとは分らない
いつしか私の瞳にあなただけが映り
目が合った 話をした
それだけのことが ただ嬉しくて

岩沢由衣（14才）

ふり続く雨の中
こもる感情が
素直に表せられない
静かな二人の
アイアイ傘

佐藤亜美（14才）

あなただから
好きなの
あなた以外じゃダメなの
だからずっと
離さないで

篠原優花（14才）

君がいるから、
頑張れる。
君を想えば、
くじけない。
そう思うんだ。

向田隆寛（14才）

「愛してる」その一言は
言えそうで言えない
心にひめた本当の想い
でもその一言が言えた時
人は初めて本当の「愛」を知るんだと思う

小野 翼（14才）

僕は君が好きだ
でも君は僕を見ていない
そんなことを知らずに僕はバカをする
めだってアピールすると思う
大好きだから

石嶋美佐紀（14才）

五行歌の本を見ていたら
おじいさん・おばあさんが
しゃあしやあと
恋の歌をつくっている
その若さに心の中で拍手

深見 犇

私の心は私の集まりだが

生き残りの恋人みたい

君という器の中で

養ってもらおう

人生の下り坂